



写真3

← 指定管理者による小学生を対象とした「BRASS EXCELLENCE TOKYO アウトリーチコンサート」。神宝小学校で開催され、全学年が参加しました。プロの演奏集団によりサクソフ・ピアノ・ドラムの魅力を教えてもらったり、年齢や授業の内容に合わせて選曲されたプログラムに子どもたちもノリノリ。

(2面から続く)

4 生涯学習 社会の構築

1 生涯にわたる学習活動の充実
 ◎生涯学習センターは、指定管理者制度の特性を生かし、独自性のある良質なホール事業や講座事業の提供を行っていくなどし、学習・交流の機会の提供と環境の整備を行います。

2 地域教育力の再構築と地域課題の解決
 ◎小・中学生を対象とした体験型事業を指定管理者、NPO法人市文化協会とともに

推進し、子どもたちの可能性を伸ばせるよう努めます(写真3参照)。
 ◎「放課後子ども教室の推進」平成27年度から小学校13校のうち3校で開始した放課後子供教室は29年度に3校、30年度に1校を新たに開設しました。令和2年度は未実施校(5校)において、新たな運営方法による試行実施を行います。

3 図書館サービスの充実
 ◎生活や学習、仕事上の課題解決に役立つ図書館サービスを提供します。アウトリーチ等により未利用者の働きかけを行います。
 ◎ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、大規模改修工事を行います(図1・2参照)。

◎関係部署と連携して市に

関する資料を体系的に収集し、保存に適した環境整備を図ります。
 ◎市政施行50周年に合わせたテーマ設定で、「語ろう! 東久留米」を継続し、冊子を発行します。
 ◎「第三次子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動を推進します。

◎今後の東久留米市立図書館の運営方針に基づき、指定管理者の選定を行い、新たな図書館運営に向けた準備を進め、効率的で持続可能な図書館運営を推進します。

4 文化財の保護と活用
 ◎郷土資料室等を利用し、子どもたちや市民を対象とした企画展示(市制施行50周年記念写真展等)、歴史ライブラリーシリーズの発刊等を通じて、文化財の活用と確実な

伝承・継承を図ります。
 5 市民スポーツの振興
 ◎指定管理者制度を生かして、NPO法人市体育協会とともに良質な自主事業を提供し、また、スポーツ推進委員のさらなる活性化を促し、市民スポーツ団体への支援を継続します。

このほか、「オリンピック・パラリンピックの精神を生かした教育の充実」を掲げ、学校教育分野では、全校が「学校レガシー」についてホームページで公表したり、学年に応じて競技を道場で応援したり、現地観戦します。
 生涯学習の分野では、指定管理者のノウハウを生かし、オリンピック・パラリンピアンなどを講師に招き交流できる事業を行い、オリンピック・

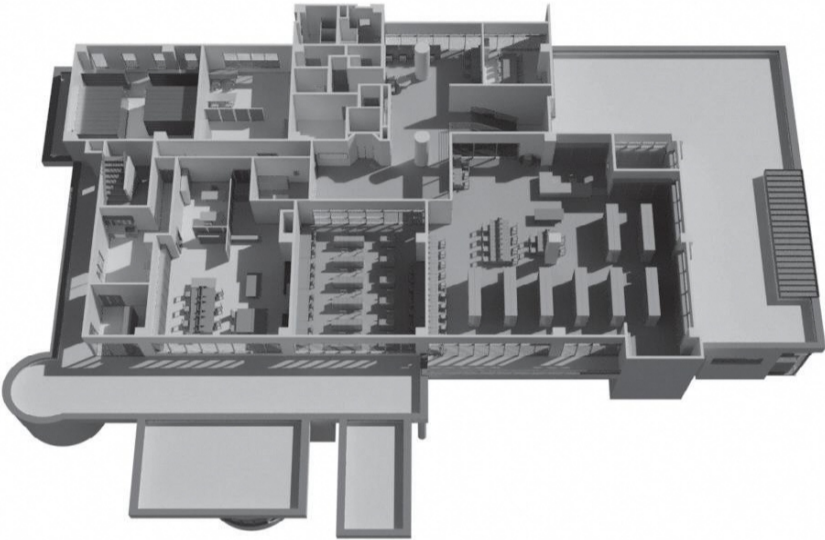
ク・パラリンピックの精神を生かした事業を展開していきます。
 ◎事業計画の所管は次のとおりです。
 ◎学校施設に関すること(教育総務課 470・777)
 ◎学校給食・通学路・就学・学校規模適正化に関すること(学務課 470・7779)
 ◎授業・学力、特別支援教育、不登校、いじめ、教員の働き方改革に関すること(指導室 470・7781)
 ◎市民の生涯学習支援及びスポーツ振興に関すること(生涯学習課 470・7784)
 ◎図書館事業に関すること(図書館 475・464)

＜リニューアルする中央図書館～大規模改修工事を実施します～＞

今後も良好な図書館サービスを市民に安定的に提供していただくだけでなく、地域を支える図書館としてさらなるサービス向上に向けて、令和3年度から中央図書館も含めた、図書館4館を一体的に運営する指定管理者を導入していきます。それに向けた施設面の準備として、40年以上が経過した中央図書館の大規模改修工事を実施しています。

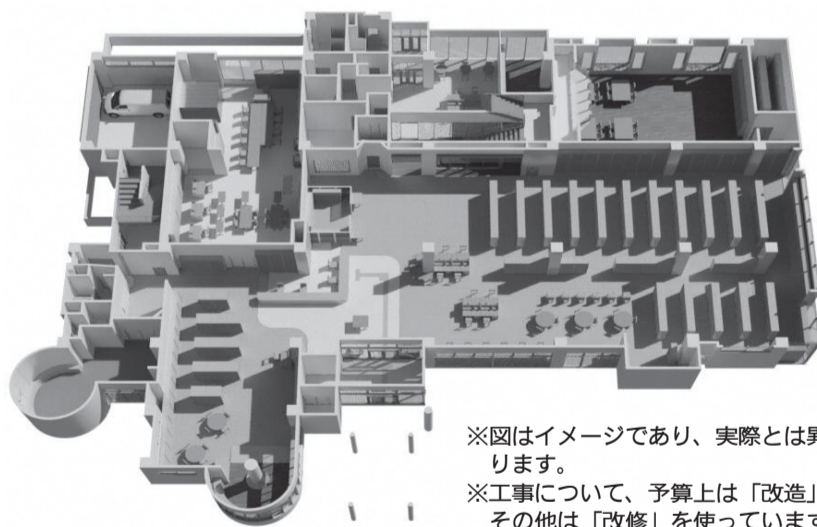
大規模改修工事により長期休館させていただきますが、7月中旬以降、市役所7階での臨時窓口設置も予定しています。臨時窓口の詳細は、広報ひがしぐるめ及び図書館ホームページをご覧ください。

図1(2階イメージ)



↑2階にある現在の参考図書室は「調査・資料室」として今後も市が運営し、地域資料・行政資料のほか、参考図書を取り揃え、地域の皆さんの様々な調べものを支援していきます。現在の学習室は講座の開催や、事業のない日は学習スペースとして開放する多目的室とするほか、新たに対面朗読室を設置します。

図2(1階イメージ)



※図はイメージであり、実際とは異なります。
 ※工事について、予算上は「改造」を、その他は「改修」を使っています。

→1階の開架室は指定管理者が運営し、保護者も子どもも安心して読書活動ができる「絵本の森」や授乳室を設置します。現在の「みんなのへや」は開架室と一体化し、イベントや講座等の開催とともに事業がない日は閲覧室として開放し、館内の資料を用いたグループワーク等ができるようにします。さらに、駐車場の安全性向上や図書館正面を広場化して開放し、屋外での図書館事業を開催するなど、地域の情報拠点として活用いただけるよう充実を図っていきます。



「事業計画」の評価は、毎年度実施しています

全ての教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律等により、教育委員会の権限が及ぶ事務事業について点検・評価を行い、議会に報告し、公表することが義務付けられています。

これにより、市教育委員会では毎年度策定する「事業計画」の内容を評価の対象としています。翌年度に「東久留米市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書」としてまとめ、内部評価に加え、有識者による評価を行うことで、翌年度の事業計画の内容に反映することができ、本市の教育行政の着実な推進に役立っています。

「事業を実施するには予算が必要」というわけで、続いては予算のお話です…

令和2年第1回市議会定例会において、令和2年度一般会計歳出予算438億1,700万円が成立しました。

そのうち、教育委員会が所管する取り組みには、第4次長期総合計画後期基本計画に掲げる基本目標の一つである「子どもの未来と文化をはぐくむまち」に基づき、48億16,060千円の当初予算が組まれました。その内訳は小学校及び中学校に係る学校教育全般の経費として58%、生涯学習全般に係る経費として33%となっています。主なものは次のとおりです。

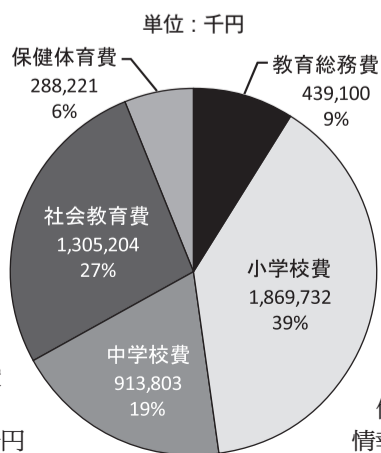
【学校教育環境の整備】

《教員の働き方改革関係》統合型校務支援システム導入事業 48,002千円

《学校施設関係》第六小学校北校舎棟他中規模改造工事 222,112千円▽第九小学校北校舎棟中規模改造他工事186,590千円▽第十小学校トイレ改修工事101,187千円▽東中学校東校舎棟中規模改造他工事186,802千円▽西中学校習熟度別教室他空調機設置工事13,563千円

《学校再編成関係》再編成事業(下里小学校の備品整理等)8,496千円

令和2年度教育費当初予算



《オリンピック・パラリンピック事業関係》競技大会観戦に係る児童のバス送迎3,300千円

【生涯学習環境の整備】

《生涯学習施設関係》スポーツセンタープール可動式屋根修繕工事4,675千円▽スポーツセンター電話設備交換修繕3,914千円

《生涯学習事業関係》放課後子供教室推進事業19,777千円▽オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業22,437千円

《図書館事業》中央図書館大規模改造事業771,887千円

また、新型コロナウイルス感染症に関連する補正予算として、家庭学習通信環境整備事業21,375千円、新型コロナウイルス感染症対策に係る感染症対策事業4,500千円、校内通信ネットワーク整備事業104,243千円、1人1台端末整備事業550,288千円が成立しています。

他の事業全般に係る予算については、市ホームページ、または市政情報コーナーや図書館に配架している予算書等を参照願います。